

漁海況情報第5報 (2018年8月6日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

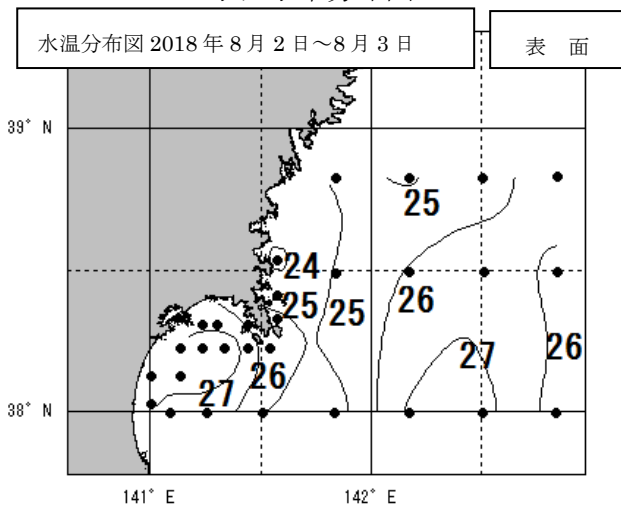
暖水の波及が続き、142° E～142° 30' E 付近が特に平年と比べ高水温となっています。

宮城県沿岸の表面水温は23～27℃台、100m深水温は11～13℃台となっています。沿岸域の水温は北上暖水の強い波及により、特に142° E～142° 30' Eの海域で高水温傾向が顕著となっており、表層、100m層ともに最大5℃、平年より高い値を示しています。また仙台湾内においても、表層水温が平年より3～4℃高い値を示す測点が多くなっています [P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。また、成層化が進んでいます [P2. 水温鉛直断面図]。

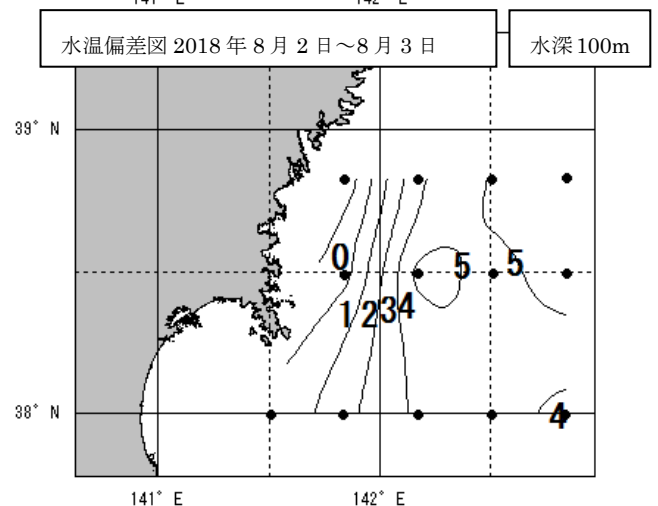
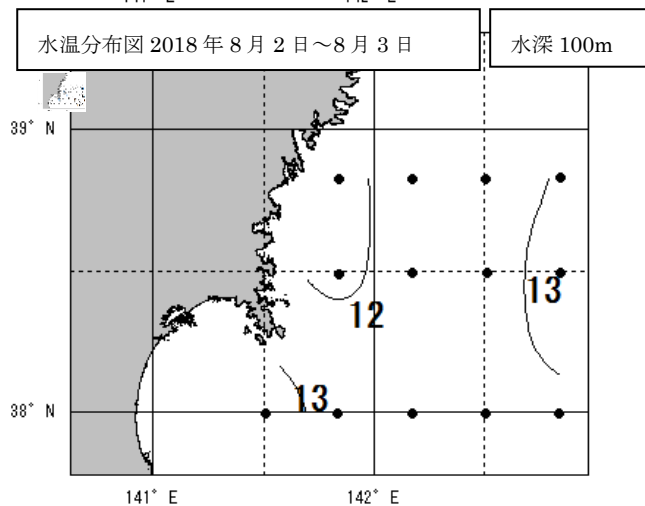
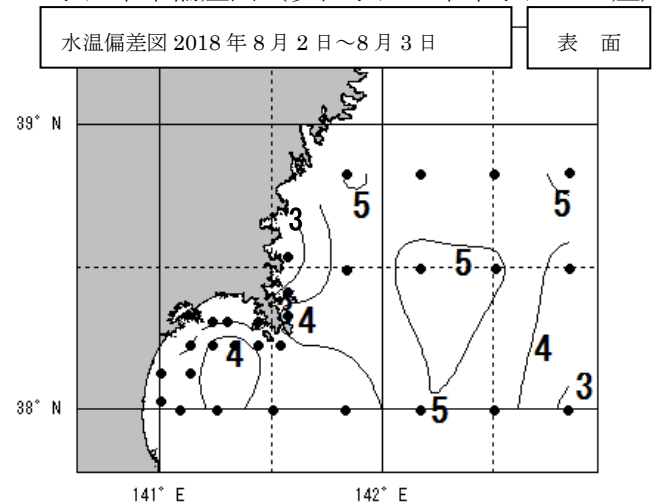
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、北上暖水は昇温していますが青森沖～岩手沿岸に冷水が南下し、大船渡～金華山沿岸には20～23℃台の混合水が南下しています。 [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

7月下旬の定地水温は21～27℃台で平年より1.7～3.4℃高く、歌津・田代島・桂島で極めて高め、気仙沼・江島・佐須浜・亶理では高めとなっています。 [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は7～18℃台で、昨年より高めです。 [P3. 海底直上水温図]。

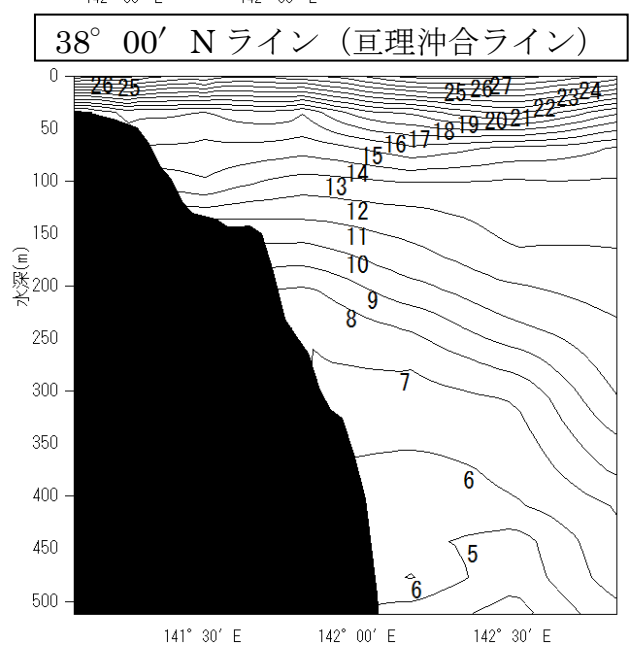
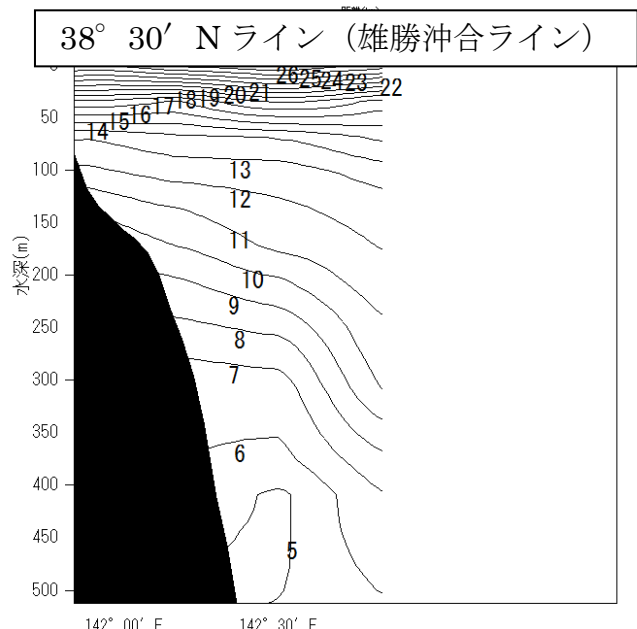
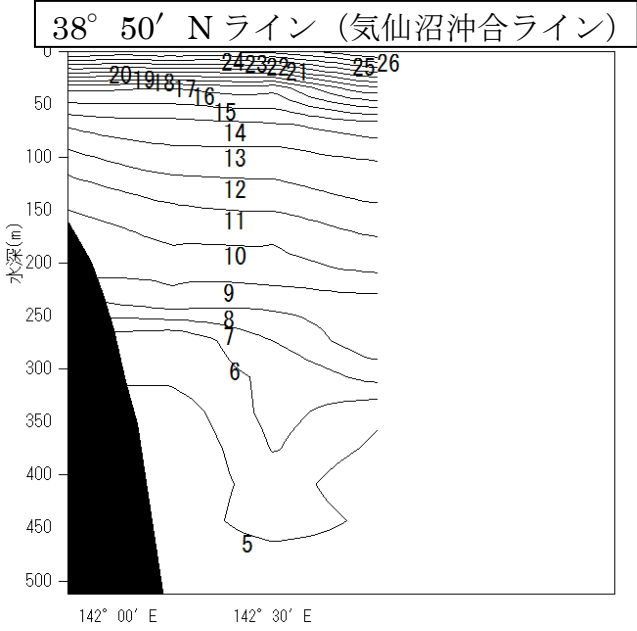
・水温水平分布図



・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

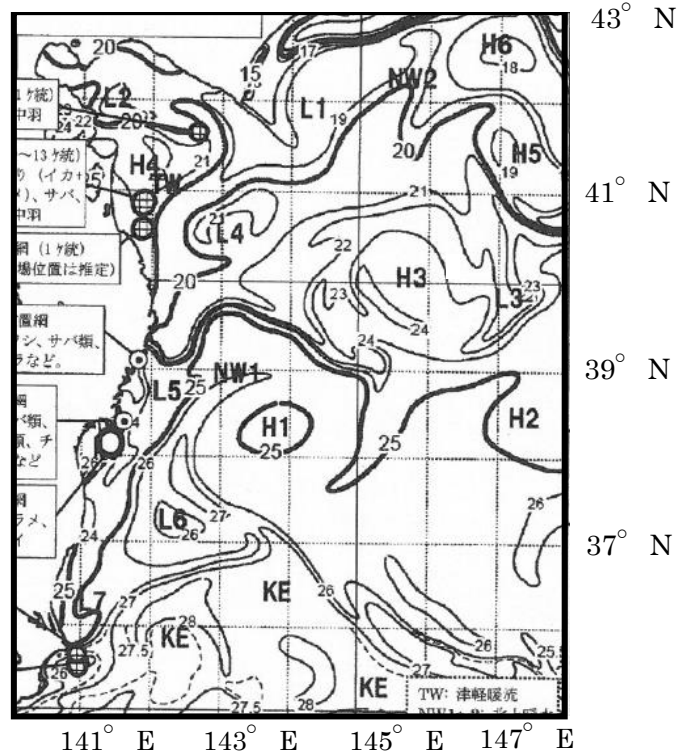


・水温鉛直断面図



2018年8月3日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

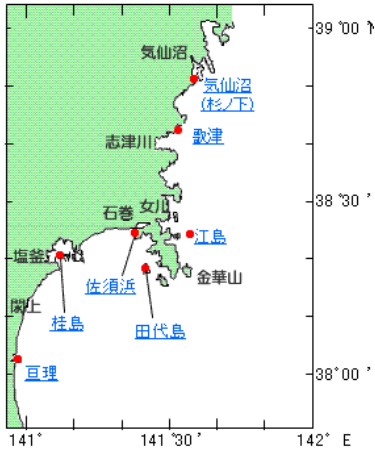
【海況】 (8月2日表面水温)

- ・北上暖水は昇温するも、青森沖～岩手沿岸に冷水が南下。
- ・黒潮は常磐沖まで北上後、南下して房総沖を東進。
- ・福島～岩手沖を北上する暖水は 25～26℃台に昇温、宮古沖に到達。
- ・九十九里～仙台湾沿岸 25～26℃台。
- ・18～24℃台の暖水が厚岸南 20 海里まで北上、周辺で水温上昇。
- ・17～19℃台の冷水が襟裳岬～青森沖を南下し宮古周辺に接岸、20～23℃台の混合水が大船渡～金華山沿岸を南下。

【漁況】 (8月1～2日)

- ・まき網：八戸沖の一そうまき網はマイワシ 588 トンとスルメイカ主体の混じり 138 トンを漁獲。犬吠埼沖ではマイワシ中羽主体に操業。
- ・定置網：金華山周辺はタチウオ増加、大船渡はブリ類主体。
- ・竿釣：宮城～岩手沖でカツオとビンナガ混じりで平均 5 トン/隻・日を漁獲、中漁を維持。
- ・カツオ・マグロまき網：茨城～宮城沖でカツオ主体にマグロ、キメジなど。
- ・スルメイカ：青森の昼イカは平均 27～58 箱/隻・日で好調。

・定地海洋観測



	7月下旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	21.0	高め	1.7	1.1
歌津	22.2	極めて高め	3.4	1.5
江島	21.0	高め	2.2	1.2
田代島	24.8	極めて高め	2.7	1.4
佐須浜	25.0	高め	2.1	1.8
桂島	27.3	極めて高め	2.5	1.9
巨理	25.5	高め	1.9	-

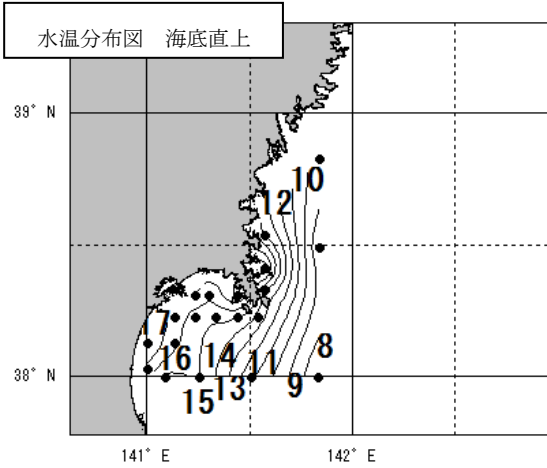
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

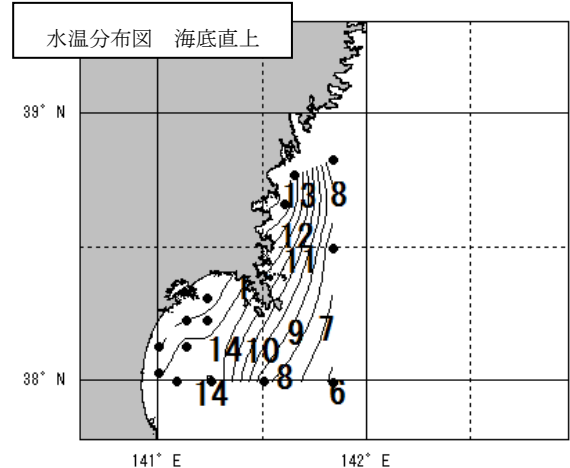
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年8月2日～8月3日)



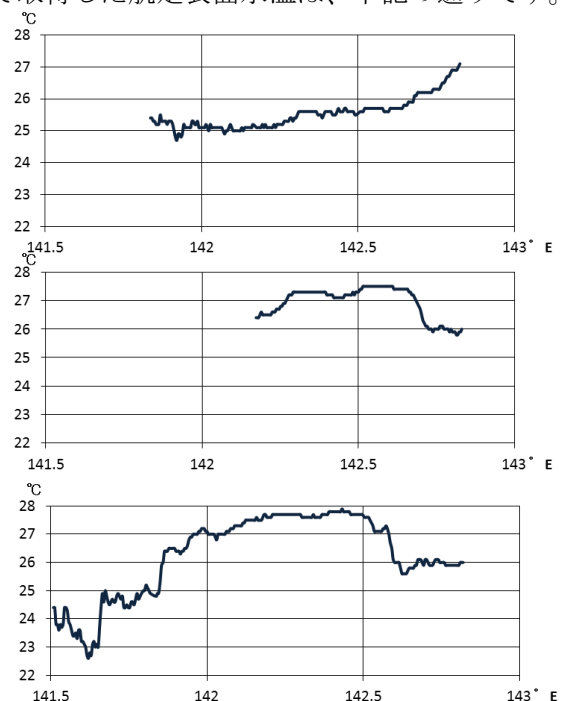
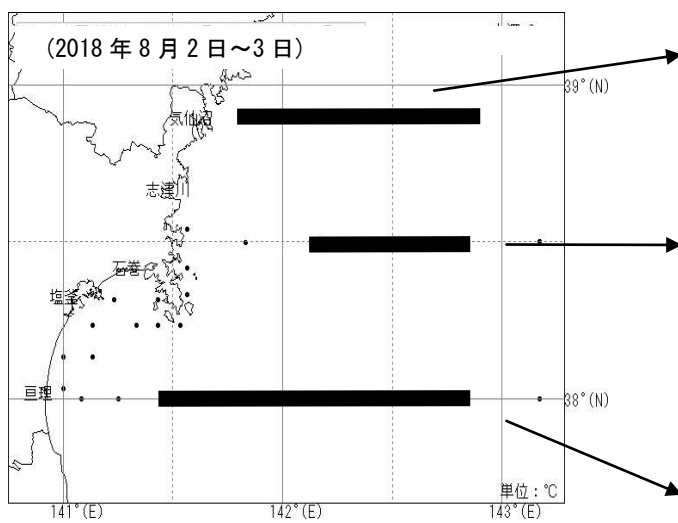
・海底直上水温(2017年7月31日～8月7日)



(※観測水深は500mまでです)

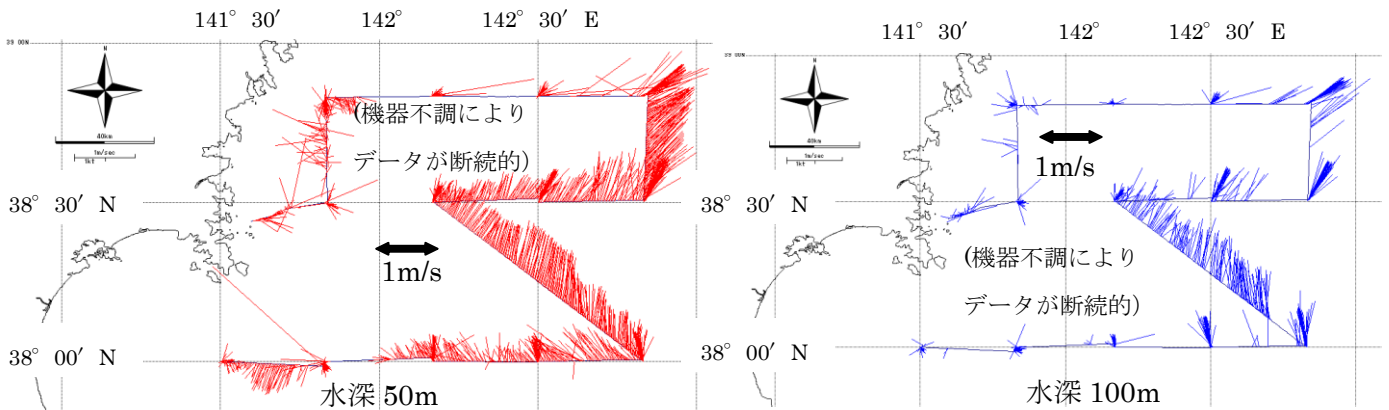
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。142° E 以東で特に北向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

7月の水揚量は前年と比較して、メバチ・スルメイカなどの水揚げが増加しています。カタクチイワシ・ヒラメ・マガレイ・クロマグロなどの水揚げは大きく減少しています。

2018年7月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			12		1562		0		12	46	74	1705	61%
メバチ			16		121				27		11	176	198%
クロマグロ			157			0				2	2	161	16%
キハダ			13		8				3	3	1	28	30%
カツオ			1640		7758					16	248	9662	80%
マアジ		49	0			46	0				2	97	55%
サバ類		7	284			336	0				32	658	36%
ブリ						319	0			0	0	319	85%
カナガシラ		13				2	0				0	14	25%
ヒラメ			0			2	4				3	9	5%
マコガレイ		39	0			0	3				6	48	73%
マガレイ						0	0				0	0	5%
スルメイカ		7				31		1			0	39	186%
ミズダコ		8				0	0				60	67	34%
マイワシ			104			1515					1	1620	21%
カタクチイワシ												0	0%
ガザミ		0				0	0				28	28	40%

(単位：トン)

5. 調査船運航計画

みやしお	
8月20~21日	スルメイカ漁場一斉調査
8月22~23日	
開洋	
8月21日	シラス調査
8月27~28日	刺し網調査
8月29日	ヒラメ新規加入量調査